

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野 2-2-22  
☎042-724-2171  
2期連続トップ当選

## フラッグツアーの顛末

「東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」と言うイベントが町田市のシバヒロで開催されました。オリンピック旗をフラッグツアー公式スペシャルアンバサダーの城島茂さん(TOKIOリーダー)から石阪市長が受け取り、パラリンピック旗をフラッグツアー公式アンバサダーの山田拓朗さん(リオパラリンピック競泳銅メダル)から市議会議長の吉田つとむが、シバヒロの会場で受け取るという内容でした。

舞台裏では石阪市長と私(吉田つとむ議長)が、その後の進行状況と役割の説明を受けました。その後、芝生のイス席に戻りました。セレモニー前イベントが終了し、石阪市長と私(吉田つとむ議長)が舞台上に上ることになりました。そこで、時を待つことになりました。ここで、一般の人にカメラ・ビデオは一切禁止になりました。すると、舞台右手から、城島茂さんがオリンピック旗を持って舞台上に上がって来て、石阪市長に手渡しました。それを舞中央で高く振りかざしました。そのポージングは小池都知事が飛行機から降りてきて、オリンピック旗を振りかざした光景と同じものでした。次いで、山田拓朗さんがパラオリンピック旗を持って舞台上に上がって来て、私(吉田つとむ議長)に手渡しました。その旗を、左右に大きく振りました。\*直前に、舞台裏で旗の振り方の指導を受けました。旗が肩より上に来るように持つのがポイントでした。

挨拶は、石阪市長、城島茂さん(TOKIOリーダー)、山田拓朗さん(リオパラリンピック競泳銅メダル)が短く行いました。

次いで、その二人のトークがありましたが、その時点では市長と私は舞台前の芝生のパイプ椅子でその対話を聞かせていただく側でした。城島さんはもちろん、山田拓朗さんも場慣れています。なお、人から尋ねられたことですが、私が城島茂さん(TOKIOリーダー)の真横に並ぶことは無く、会話も一切行っていません。思い出して、山田拓朗さん(リオパラリンピック競泳銅メダル)とは舞台上で、最後に握手をしました。J-comの撮影もあり、後で放映されたものも視聴された方からその印象をお聞きしましたが、せっかくのチャンスを逃した感があります。



舞台上で演技したジュリアスの皆さん

その後、市内中心部のパレードでは、パレードの先頭は4名で、大きなパネル看板を持ちました。石阪市長と私(吉田つとむ議長)が中にその両側に玉川大学ジュリアスのメンバー2名が並びました。後方には関係者、そして、オリンピックフラッグ、(旗手:海淵萌さん=町田市出身、ロンドン大会カヌースラローム代表)、パラリンピックフラッグ(旗手:鹿沼友由理恵さん=町田市出身、リオ大会パラ自転車銀メダル)が旗手を務めました。なお、鹿沼友由理恵さんとは以前にもじっくりと話を聴く機会があったため、お会いする度に毎回挨拶をしています。

無所属で活動・市議会は保守連合 **市議会議長として、休まず執務中**

HP <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



QRコードで  
メール送信が  
できます



町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

市議会議長として、連日活動中



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 時代を反映したスポーツ施設視察

「保守連合」会派で福岡市を視察に訪れました。訪問先の一つは、博多区の東平尾公園内にある、福岡県の施設でしたが、それは「アクション福岡」と言い、町田市の総合体育館との相違でいえば、プールが併設されていることでした。そのプールは、50mプールの他に飛び込みプールもあり、本格的な競技施設となっていました。25mプールは温水で、指定管理の受託会社(地元ガス会社)が運営していました。選手などの宿泊スペースもあり、県が設立すると多岐にわたる施設が設置されるということが確認されました。同種の福岡県営施設では、久留米市にあるとのことでした。町田市では、同種の都営スポーツ施設は皆無であり、その意味では町田市には都政は無いも同様と考えられます。

体育館のメインアリーナの外壁面には、珍しい構造物が設置されていました。大型のスポーツライティングウォールの装置でした。他には、ボルダリングウォールが新たに設置されていました。オリンピック競技にも取り入れられる今後の人気の競技種目で、そうした動きに対応するものでした。

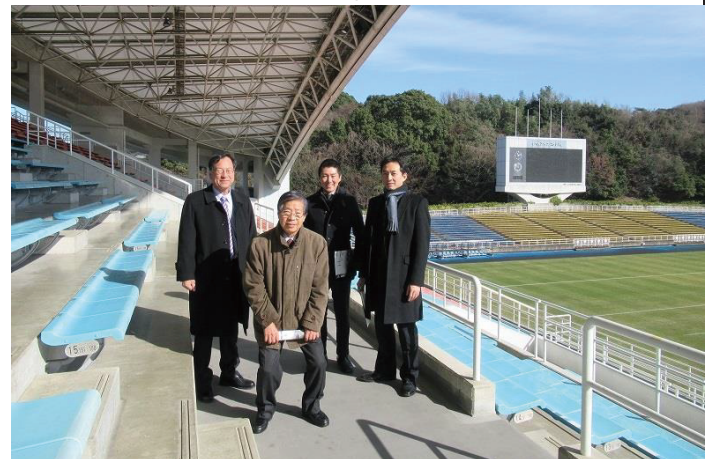


## フットボール専用競技場

続いて、福岡市のレベルファイブスタジアムを視察しました。この名称は、日産スタジアムのように、命名権・スポンサー名がついたもので、株式会社レベルファイブは、福岡市に拠点を置くゲームソフト 開発・販売会社で、世代を超えて人気が高い『妖怪ウォッチ』の製作企業として有名です。

この競技場はフットボール専用の競技場であり、グラウンドは一面が天然芝で覆われていました。サッカー、ラグビーの試合が可能で、全国の競技場がその開催地権を争った、ラグビーワールドカップ2019の開催場所の一つにも指定されています。

また、このレベルファイブスタジアムは、「アビスパ福岡」のホームスタジアムでもあり、今年のシーズンでは、町田のゼルビアと同じJ2で戦うこととなります。相互に、ホームグラウンドで顔を合わせることになり、ライバル関係になります。



シーズンオフの期間に施設を訪れました。写真では見えませんが、屋根付き観覧席がこのメインスタンドの反対側にも設置されています。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com) mobile: [yoshidaben@docomo.ne.jp](mailto:yoshidaben@docomo.ne.jp) (モバイルのみ接続)